

# あくね



# 12月

# No.262

昭和43年8月20日 第3種郵便物認可  
毎月1回10日発行1冊8頁  
昭和43年12月10日 鹿児島県阿久根市  
市長公室秘書広報科編集

# 健全な運営に努力

## 加入率七十二パーセント

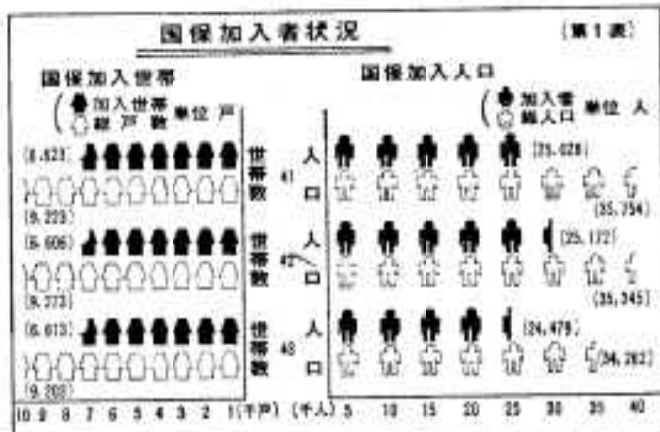
現在は、けがや病気などで治療を受ける場合、国民一人残らず保険でかかれる仕組み(国民皆保険制度)になっています。

したがって、国民健康保険は、会社や事業所または官公署などに勤めていないかたは全部加入しなければならぬ保険になっています。

### 加入の状況

では、阿久根市の加入状況をみてみますと、第一表のとおりで、総人口に対して六千六百五十三世帯、二万四千七十九人で約七十二パーセントを占めています。

このように、国民健康保険は、わたくしたちと切っても切れない制度になっています。



いるのです。つぎに、財政状況はどうなっているかみてみましょう。(第二表)

収入	
保険税	31,264
国庫補助金及び国庫補助金	35,400
繰越金	8,290
その他	171,376
合計	176,230

総務費	11,560
保険給付費	13,598
医療機関費	106,337
その他	158,948
合計	290,443

これは、みなさんのお医者さんにかかって治療された場合、病院の窓口でお支払いになる治療費は三十パーセントで、残

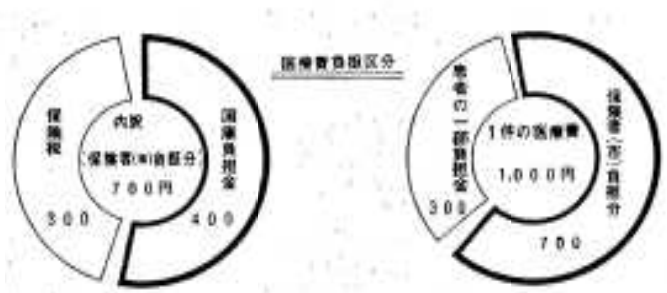
りの七十パーセントは、県や国からの補助金と前年度繰越金などで、医療機関に支払われているのです。その支払われる医療費の内訳は、国や県からの補助金と前年度繰越金四十三パーセント、みなさんから納めていただく保険税から十八パーセントからなっています。

これらの額は、昭和四十三年度見込み額からみますと、約一億七千六百万円となり、昭和四十二年度決算額と比較しますと、約四千八百万円と大幅に増えることが予想されます。

このように、医療費の増える原因をみますと、早期発見早期治療というたてまえから、医者にかかる人が増えたこともあります。そのほか、医療機関が増えたこともあり、今年一月から実施された、世帯員七割給付になり、医者に

かかりやすくなったことでもあります。

また、現代医学の進歩と経済成長にともない、治療の内容も高級化されたこともいえます。それで、負担区分を別に表わしますと、かりに一件の医療費が千円かかったとしますと、その負担区分は次のようになります。



このように、国民健康保険は、みなさんの負担を軽くしているのです。「今年には保険税があがった」とよく聞きますが、税率は前年度と同じです。前年度の所得が多くなった結果で、自然増ということになるわけです。また、そのほか、「自分は医者にまわったかかかな

表紙

### 養殖ノリつみ

折口海岸で早くも養殖ノリつみが始まりました。

これは、昨年阿久根漁協が初の試みとして海外でのノリ養殖に好成績を納め、今年本格的に取り組んだもので

冬場にこれといって決め手のない漁業に不安をだいていた漁民は昨年の好成績を機会に養殖ノリ熱が高まり、「折口水産振興会」を

結成、県漁業改良普及員仲間先生の指導のもと、みごとに成功した

ものです。今年十一月三日には二百七十平方メートル、ノリヒビ百枚を張り、これが各柄とも二十センチ前後の肉質の厚いノリが伸びました

寒い冬の海で、ノリつみ機械の音も軽やかにひびいています。

このノリは正月用として出荷され、食卓をかざることになりました。外海ワカメの養殖とともに、ノリ養殖も本格的になり、阿久根市沿岸漁業も大きく変わる

(折口海岸)

# 国民健康

ふえる

国民健康保険は今年で30周年を国民健康保険制度にとって、記念国民健康保険(地域保険)は社制度の2つの大きな柱として、わなないものとなっています。そこで市民のみなさまのより一概況をお知らせします。

それでは、他市町村の一世帯当りの保険税額をどうなっているかみてみましょう。

ないのに保険税を納めるのはおかしい—そんな問い合わせもありますが、保険は不幸にして災害や病魔におかされた場合にお互いに助け合おうとする相互扶助制度ですから、強健なからだをもった人でも突然どんな事故におそわれるかわかりません。そんなとき保険は唯一の救済制度であって、もっとも合理的なシステムなのです。

一世帯当り保険税 つぎに、年度別保険税の一世帯当りの調定額をみてみますと、つぎのとおり。

年度	40	41	42	43
調定額	4,389円	5,335円	5,457円(見込)	5,555円

( ) 内は昨年干害による減額する前の額です。

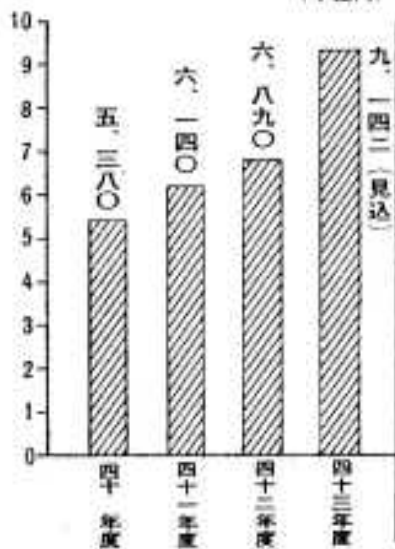
昭和42年度保険税一世帯当り税額の比較 (単位円)

市町村名	税額
市町村名	税額
鹿兒島市	8,589
高尾野町	9,121
大口市	8,121
枕崎市	7,951
出水市	7,939
串木野市	7,428
川内市	7,221
加世田市	7,000
野田村	6,907
名瀬市	8,436
国分市	6,421
西之表市	6,285
指宿市	6,115
鹿屋市	6,036
垂水市	5,001

◎阿久根市 4,719円 ◎県平均 7,121円

年度別1人当り医療費

(単位円)



この表で、昭和四十三年度受診回数を見ますと、三・五〇回になっていますがこれは、国民保険に加入しているかたが、一人年間平均して医者にかかった回数になるのです。

一人当りの医療費 それは加害者であります自動車事故などは、自動車損害賠償責任保険によって補償されるもので、国民健康

年度別受診率

年度	40	41	42	43
回数	2.70	2.92	2.98	3.5 (見込)

この表からみても、阿久根市の保険税額がかわかりになると思います。お医者にかかる回数 国民健康保険に加入しているかたが一人年間、お医者にかかった回数を年度別にみまますとつぎの表のとおりになります。

保険税の納入状況を見ますと、昭和四十二年度が九八・六九パーセントで、県平均九五・六四パーセントにくらべると、はるかに好成绩を納めています。一人一人が保険税を完納することが、あすへの健康を保証することになるのです。

交通事故に あつたら 国民健康保険の加入者のかたがたが不幸にして、交通事故など、第三者行為による損害を受けられた場合補償はだれがしてくれるでしょうか。

## 交通事故五則

- ①警察に届け出る。
- ②ナンバーの確認。
- ③自撃者をさがす。
- ④免許証や車体検査証を確かめる。
- ⑤車の所有者や使用主、自動車損害賠償責任保険契約事項を確認する。

## 健康で明るい家庭

ひと口に健康を守るといってもなかなかむずかしいことですが、住いや環境をいつも清潔にし、積極的に健康維持することがもっとも理想的です。いつも健康で明るい家庭を築きましょう。

## 電気のを

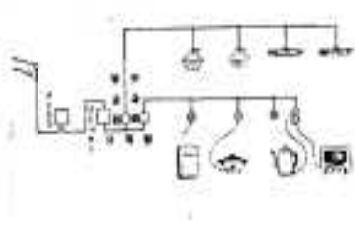
### ふやしましょう

電気の通る道を回路といいますが、一回路とは電灯、テレビ、冷蔵庫、電気釜などすべての器具を一つの配線から使っている状態です。

むかしの家はほとんど一回路でした。一回路から使える電流の量は一五〇ワットで、これ以上の電流が流れると安全器のヒューズが切れます。一回路ですともしヒューズが切れた場合家中まっくらになります。

もし電灯は電灯だけ。電気器具は電気器具で集め、べつべつに専用の道を作つてやれば家中まっくらになる心配はありません。

図は二回路の配線を示したものです。今日のように電気器具がふえますと二回路はほしいものです。



# 農道舗装を充実

## 市長の施政報告から



(第3・4半期の施政を報告する市長)

でございます。

また、農道舗装工事につきましては、融資の通知がありましたので、阿久根農協九カ所、三笠農協二カ所を十二月上旬入札執行する予定でございます。

昭和四十三年度第三・四半期分の施政について、ご報告申し上げます。

### 公営住宅二十戸

まず、建設関係におきましては、寺山団地集会所新設工事が来年二月完成予定でございます。

昭和四十三年度公営住宅建設事業といたしましては、一種二棟八戸、二種三棟十二戸を十一月末完成、十二月から入居開始の予定であります。

教育関係では、臨本小学校危険校舎改築工事、三笠中屋内運動場新築工事、それぞれ来年一月末完成予定、阿久根市民体育館新築工事は、来年二月完成の予定でございます。

### 農道を舗装

道路関係では、佐斗村中支線改良工事を補助事業として、来年二月完成予定で

個、大型魚礁二千個、それぞれ本年中に投入する予定でございます。

また、黒之瀬の市営ボーリング工事は、十二月中旬完成の予定でございます。

なお、市主催の農業祭を予定し、農産物出展会と即売会、農機具展示、南日本放送による演芸会などを計画してまいります。

農業構造改善事業では、第二次事業といたしまして約一億七千万円の事業費で、波留・山下地区と臨本地区を予定し、現在実施計画について、県と協議中でございます。

農工水産関係では、桂愛蔵の消力化をはかるため、阿久根市漁協組合三十人が山口県魚門市の漁協組合を先進地として視察。

### 大型魚礁を二千個

また、並型魚礁百九十八個、大型魚礁二千個、それぞれ本年中に投入する予定でございます。

### 十月八日にスト

なお、さる十月八日、市の職員組合では、始業時刻から約二十五分執務時間にくい込む時限ストを行ないました。

わたくしといたしましては、その前に職務命令を出し、地方公務員法違反だから、ストは実施しないようたびたび警告したのですが、残念ながらストを実施したわけでございます。

これより前、当市役所職員組合から、わたくしに対して、「連台要求」として、

- 一般行政職員給料表を五等級から一等級まで通し考案とすること。
- 共済組合費の値上げにともない、全員一律一等級アップすること。
- 各種手当を新設し増額すること。
- 市内外出張旅費を全面的

に改正し、増額すること。

そのほか、「統一要求」として、

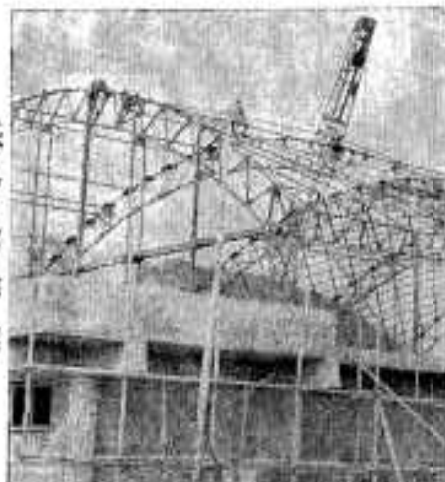
- 地方公務員労働者の賃金を一万円以上引き上げる。
- うち、八千円は一俣配分とし、残分は中だるみ等の体係是正を中心に行なうこと
- 高卒一般行政職の最低基準として、経年数〇年(十八歳)初任給二万七千円とし、経年数十七年まで五万六千円に到達するよう賃金体系を改善し、あわせて在職者の完全調整を行なうこと。
- 最低生活を保障するため年令別の最低保障賃金制度を設けること。
- 扶養手当を一人当たり二千円とする。
- 住宅手当制度を新設し、六千円とする。

わたくしは、市民のかたがたの繁栄をこい願うのがわたくしの仕事であります。

ですから、わたくしは、十月八日の時限ストに参加した職員組合の役員などを地方公務員法違反として、懲戒処分いたしました。

つきに、この期間、十月に黒之瀬戸架橋陳情のため、十一月には都市行政研究会出席のため上京いたしました。

(体育館建設)



以上をもちまして報告を終ります。

知らない 火事の恐ろしさを

あなたは 火災予防運動

□バケツ一杯の水くみおき □たばこの投げ捨てと寝たばこの防止

□地震のときの火の始末

火災・救急は局番なしの119番へ

# 楽しい冬休みに ほしい子どもの健康管理



(中央公園で)

市内の各小中学校は、十二月二十五日から、いっせいに冬休みにはいります。この時期は、年末年始のあわただしいときですから、とくに子どもを放任しがちです。

しかも、子どもの健康管理は、学校から家庭へ、パトタッチされます。とくに、寒さもきびしく、かぜなどにかかりやすい時期ですから、子どもの健康管理には十分注意してあげましょう。

かぜは万病のもとといわれます。とくにインフルエンザは流行が早く、かかりやすいものです。予防としては、つねに栄養や休養に気をつけ、からだの調子をととのえ、うがいを行なうことです。インフルエンザは、伝染しやすいというだけでなく、

肺炎やじん炎などの余病をひきおこしますので、前もって、予防接種を受けることも大切でしょう。はやりだしたら、無理な運動はやめさせ、疲れないように注意することです。つぎに、着物は、わたくしたちの体温を保つためや体をけがら守るためにも

着るものです。

冬はとくに厚着をしやすく、そのうえ、汗をかいたり、着がえをいやがったりするので、不潔になりがちです。

からだを清潔にし、できるだけ薄着にし、皮ふが活動しやすいようにすることが必要です。

そのために、着物は、軽くして体温をよく保つものを選びましょう。

寒さがきびしくなると、あまり活動しなくても、カローリはたくさん必要になります。

とくに、発育がりの子どもは脂肪やタンパク質などを十分とることが大切です。野菜やくだものなどもたくさん食べさせるようにしましょう。

さらに、わたくしたちの骨の発育に役立つものとして

て、ビタミンDがあります。

これは、太陽光線の紫外線が、そのつとめを完全にはたしてくれます。

この紫外線は、太陽エネルギーの中わずかにパーセントぐらいで、透明なガラスでもとおりにくいものだからです。

ですから、天気の良い日には、できるだけ戸外に出て、直接日光にあてるようにしましょう。

学校とちがって、家庭では、勉強の態度が悪くなりがちです。冬休みの終わりになつてから、あわてて日記を書いたり、いっぺんに宿題などをすることがよくあります。冬休み中計画的に勉強するよう心がけてやりましょう。

また、子どもたちにとって心のゆるみがちな時期です。注意してやりましょう

が、これが、それを月額二五〇円と三〇〇円に改定されます。

昭和四十二年一月分から昭和四十四年一月分の保険料から変更された額で納めることになりましたが、あやまって、変更前の保険料を納めないよう、また、これを納め忘れないよう注意しましょう。

この保険料を納めることができないかたは、保険料免除制度もあります。

昭和四十二年一月分から昭和四十四年一月分の保険料が、これを月額二五〇円と三〇〇円に改定されます。

## 国民年金 保険料が変わります 来年1月から

みなさん、国民年金保険料が、来年一月から変わります。いままで三十五歳未満のかたが二〇〇円、三十五歳以上のかたが二五〇円でありました。

昭和四十二年一月分から昭和四十四年一月分の保険料が、これを月額二五〇円と三〇〇円に改定されます。

# インフルエンザ

また、かぜの流行する季節となりました。四百回病、それ以上ある病気のうちで一番よくかかるのがかぜです。

統計によると、一人が病気になる病気の回数は十回で、そのうち六回から七回がかぜだそうです。

かぜとは、くしゃみ、鼻みず、のどの痛み、せきなどの呼吸器からの症状と頭痛、全身のだるい感じ、発熱などの全身症状がでてくるのが特徴です。

かぜで、もっとも代表的なものに、インフルエンザ(流行性感冒)があります。伝染力が強く、流行のシーズンには多数の人が感染します。

症状もひどく、発熱、全身だるさ、頭痛、腰痛などの全身症状に、のどの痛み、せきなどが加わります。ときには肺炎を併発することもあります。

## 季節の話題

かぜは万病のもとといわれて、あらゆる病気をひきおこすものです。夏の疲れが残っていたりするとき、かぜにかかったら案外重くなります。医学の進歩しているこの頃でも、かぜの特効薬はないといえます。せめてかぜにかからないようにしましょう。

十二月は主婦にとつて一年中で、いちばん忙しい月です。

そのうえ、日あしが短くまごまごしていると、すぐ一日が終わってしまいます。

そこで、月のはじめに、家事の手順をきめて、押しつぶさずから、まごまごしないようにいたしましょう。

小さい黒板を利用するか、カレンダーの余白などに、

この月のおよその日程を書きこんで、手ざわよく家事をきりまわし、すっきりした気分での新しい年を迎えましょう。

◆身の回り  
正月に着る晴れ着は、洋服、和服とも十五、六日ごろにいちおう点検しておきましょう。

◆正月用の衣類の買入れはできるだけ必要なものだけは珍重されます。

◆子どもさんや同居者あてのものは、保護者の名前か〇〇方と肩書きしてください。

### 年賀郵便はお早く

#### 郵便番号ははつきり

何久根郵便局では、年末をむかえ、つぎのことをお願いしています。

#### 年賀状

◆年賀状は差し出しが遅れると元旦に配達できないこととなります。遅くとも十二月二十二日までに差し出してください。

◆年賀状を差し出すときはたばねて「年賀」と書いてふせんをつけて出してください。

◆なお、年賀はがき以外のものを一枚づつ差し出すときは、あて名の左上に「年賀」と添書きしてください。

#### 小包

◆小包など第三種以下の郵便物は、十二月十五日までにお出しください。十六日からは混雑し、年内に届か

◆冬の食事  
寒い口外の仕事や、おつとめから帰ってくる家族のために、あたたかい夕食を準備してあげましょう。

◆すまいの整理  
十二月にはいったら早めに、よく晴れた日を選らんで、大そうじをすませましょう。

◆交通安全標語を  
本年も年賀状を差し出す時期となりましたが、黒交

◆交通安全標語を  
交通安全標語を書いて差し出す運動を進めています。

◆交通安全標語を  
交通安全標語を書いて差し出す運動を進めています。

◆交通安全標語を  
交通安全標語を書いて差し出す運動を進めています。

◆交通安全標語を  
交通安全標語を書いて差し出す運動を進めています。

◆交通安全標語を  
交通安全標語を書いて差し出す運動を進めています。

◆交通安全標語を  
交通安全標語を書いて差し出す運動を進めています。

◆交通安全標語を  
交通安全標語を書いて差し出す運動を進めています。



小包は15日までに年賀状は22日までにお願いします。

そのほか、やさしいをいろとりどりませて、豚肉やベコンなどといっしょに煮こね、スープ風の料理は、老人、子どもにもよろこばれます。

◆すまいの整理  
十二月にはいったら早めに、よく晴れた日を選らんで、大そうじをすませましょう。

◆交通安全標語を  
交通安全標語を書いて差し出す運動を進めています。

◆交通安全標語を  
交通安全標語を書いて差し出す運動を進めています。

◆交通安全標語を  
交通安全標語を書いて差し出す運動を進めています。

◆交通安全標語を  
交通安全標語を書いて差し出す運動を進めています。

◆交通安全標語を  
交通安全標語を書いて差し出す運動を進めています。

◆交通安全標語を  
交通安全標語を書いて差し出す運動を進めています。

◆交通安全標語を  
交通安全標語を書いて差し出す運動を進めています。

◆交通安全標語を  
交通安全標語を書いて差し出す運動を進めています。

のさん、よい戸、電灯線など、目ごろゆきとかないところを念いりにきれいにします。

◆防火  
寒くなるにつれて、火災がぐんとふえます。火災

◆交通安全標語を  
交通安全標語を書いて差し出す運動を進めています。

◆交通安全標語を  
交通安全標語を書いて差し出す運動を進めています。

◆交通安全標語を  
交通安全標語を書いて差し出す運動を進めています。

◆交通安全標語を  
交通安全標語を書いて差し出す運動を進めています。

◆交通安全標語を  
交通安全標語を書いて差し出す運動を進めています。

◆交通安全標語を  
交通安全標語を書いて差し出す運動を進めています。

◆交通安全標語を  
交通安全標語を書いて差し出す運動を進めています。

◆交通安全標語を  
交通安全標語を書いて差し出す運動を進めています。

### 明治百年史の人びと

実費で配布

阿久根市が明治百年を記念して、刊行した、記念刊行物「明治百年史の人びと」は市内全中学生に無料配布を終わりました。

◆交通安全標語を  
交通安全標語を書いて差し出す運動を進めています。

◆交通安全標語を  
交通安全標語を書いて差し出す運動を進めています。

◆交通安全標語を  
交通安全標語を書いて差し出す運動を進めています。

◆交通安全標語を  
交通安全標語を書いて差し出す運動を進めています。

### 保険証の検認

国民健康保険の被保険者証(保険証)の有効期限が十二月三十一日までです。

検認をしない保険証は無効になり、病気がかかっても受診できなくなります。

一戸もれなく検認を受けてください。

転入、転出、出生、死亡他の保険加入などによって現況とちがっている場合は早めに、市役所保険係までご連絡ください。

診察を受ける場合は、必ず保険証をお医者さんの窓口に出してから、診察を受けましょう。

### 成人になる

#### かたへ

昭和四十四年一月十五日は「成人の日」です。

市では、これらのかたがたの新しい門出をお祝いの意味で、成人式にお招きし、意義ある日にしたと考えています。

#### 対称

昭和二十三年一月十六日から昭和二十四年一月十五日までに生まれたかた。

阿久根市に住民票があるかた。

阿久根市に住民票がなくとも親権者(保護者)が阿久根市に住んでいて、本人が式に参加する場合は該当者になります。

者になります。こんなかたがありましたら、市社会教育係にご連絡ください。

### 歳末正量運動

十二月の一カ月間は正量運動です。

正しい「はかり」で正しい「はかり」といふ、ごくあたりまえのことが実際に行なわれていません。

商店、消費者とも「はかり」に関心をほらしましょう。

消費者のみなさんへ

買ひ物は目方に注意すること。

買ひ物は目方買ひか正味量表記商店(密封商品)を求めるとがお得です。

家庭に計量器を備えはかる習慣をつけること。

商店のかたがたへ

正しい「はかり」を使用すること。

「はかり」はお客さまに目盛の見えるようにおくこと。

購入者の前では、はかりなどを十分気をつけてはかることに気をつけましょう。

歳末

たすけあい運動

## お知らせ

十二月一日から三十一日まで、歳末たすけあい運動月間です。

このたすけあい運動で、集まった募金は、福祉施設やめぐまれないかたがたなどにおくられるものです。

わたくしたちと同じように、暖かい正月を迎えることができるようにと、毎年行なわれているものです。

この歳末たすけあい募金は、郵便局や銀行の窓口で直送されることになっています。

みなさん、めぐまれないかたがた、施設にいるみなさんに、暖かい正月をお迎えしていただくため、みなさんの暖かい心さしをおまわっています。

また、暖かい手を差しのべてやりましょう。

### 香典返し

つぎのかたがたから、香典返し(書初め)としは絶対まもってネ。

典返しのご寄付がありがとうございました。ありがとうございます。

●藤岡 光男さん(西貝) 五千元

●鶴崎 栄さん(赤瀬川) 五千元

●中野 謙摩さん(大林) 五千元

●平 清人さん(藤本) 二万円

●山田 春雄さん(本町) 五万円

●徳積田 豊さん(琴平町) 一万円

(特志寄付) ●横間 サオさん(詔) 三千元

### 御用納め

市役所官公署の御用納めは十二月二十八日までです。御用納めは、一月四日です。その間市役所は休みますが、死亡届、埋葬許可などは受け付けます。



### 晴れの文部省表彰

臨本小学校は本年度の学校給食の優良校として、晴れの文部省表彰を受けました。これは県下で選ばれたそのうち小学校は2校でした。ここ臨本小学校は児童数 235人、四元校長を中心に充実した給食指導を行なっています



### 文旦を植樹

阿久根市は明治百年を記念して文旦を阿久根市内の各駅に100本それぞれ植樹しました。観光阿久根の表玄関を名産阿久根文旦でかざろうというものです。(折口駅で)

### シカ愛護会結成

阿久根大島のしかは現在52頭、島のすみにさくをつくり、そこに餌を寄せ合うようにしています。こんどシカ愛護会が結成されました。加盟は阿久根交通、協力団体の観光協会、青果市場、小・中学校、教委、青年商工クラブ、飲食店組合など20団体で、会長丹宗忠、副会長田野正治氏をそれぞれ選び、シカの育成に力を入れることとなります。



